## 着実に積み重ねた信頼の軌跡

## 野田よしひこ、38年の歩み

1986年10月、初めて津田沼駅前に立ちました。

あれから38年、

駅頭や集会でお聞きした皆様の声を結集し、

よりよい政治の実現に

取り組んできました。

衆議院議員初当選 非自民連立政権誕生 1993年

千葉県議会議員初当選 1987年 (千葉県議を2期務める)

1976年

松下政経塾に 第1期生として入塾

1957年

千葉県船橋市に 自衛隊員の息子として 生まれる

早稲田大学 政治経済学部

政治学科に入学

立憲民主党代表に就任

2010年

第95代内閣総理大臣に就任

2009年

菅直人内閣で財務大臣に就任

<sup>'</sup>民主党政権樹立

2011年

2000年

1996年

衆議院議員選挙で再選、国政に復帰

衆議院議員選挙にて落選

(全国一の僅差、105票差、惜敗率99.9%だった)

## ~夜の闇と冷たさが私を育ててくれた~ 105票差の教訓

1996年の衆議院議員選挙では、全国一の僅差、105票差で敗れました。重複立候補していませんでしたが、 惜敗率は99.9%でした。その後、4年間、浪人しました。悶々とした日々を送っているときに、朝の勉強会に誘わ れました。そこで講師の方が話されていた朝顔のお話が心に残っています。朝顔は早朝に可憐な花を咲かせる が、そのために一番大事な要件は、陽が当たる前の夜の闇と夜の冷たさにあるというお話だったんです。

夜の闇を知ってこそ、明かりがありがたいと思う。夜の冷たさを知ってこそ、温もりに幸せを感じる。我々 は、夜の闇と夜の冷たさを知っています。そこで積み上げてきた政策体系こそ、今の時代の要請ではあり ませんか。それは勝ちっぱなしの自民党ではわからないことです。格差が広がってまいりました。中間層から こぼれる人が出てきました。格差を是正し、分厚い中間層を復活させるために、政権交代を実現しましょう。



